



諦めないで、願いをこめて

校長 佐々木 秀之

校庭、校舎に子供たちの元気のいい爽やかな声が戻ってきました。例年より10日間ほど短い夏休みが明け、今日から2学期がスタートします。子供たちにとってこの夏休みは、様々な制約がある中での「特別な夏」生活だったことと思います。

本来であれば、今は東京2020パラリンピックの真ただ中であるはずでした。しかし、待ちに待った東京2020オリンピック・パラリンピックは新型コロナウイルスの影響で来年へと延期されています。そこで、前回大会はどのような大会であったか振り返ってみました。

\*

オリンピックでは、水泳の萩野公介選手の金メダルに始まり、体操男子の団体金メダル・内村航平選手の個人総合金メダル、卓球男子団体の銀メダル・女子銅メダル、陸上男子400mリレー銀メダル、テニス男子シングルス錦織圭選手の銅メダル、柔道、レスリング、バドミントン、カヌー等々…それぞれが私たちの記憶に残るメダルでした。

パラリンピックでは金メダルは獲得できなかったものの、ボッチャ混合団体銀メダル、女子マラソン道下美里選手の銀メダル、車いすテニス男子ダブルス国枝慎吾・齋田悟司ペアの銅メダル等々…それぞれが私たちの心を熱くさせたメダルでした。

前回大会で日本選手の活躍する姿から学んだのは、「決してあきらめない心」でした。選手たちの戦いは、感動だけではなく、「諦めないで、願いを込めて努力すれば、どんな環境にあってもいつか『夢』は叶う」というメッセージを伝えてくれました。何かを成し遂げるために、大事なは何といても諦めない熱意だと教えてくれました。

\*

東京2020大会のために全てをかけてきた選手たちにとって、これからの一年間はとてつもなく長い時間に違いありません。そして、東京大会が開催されるのかさえ不透明な状況にあります。

新型コロナウイルスは、私たちの生活を一変させました。校庭、校舎に子供たちの元気のいい爽やかな声は戻ってきましたが、学校生活にも多くの制約があり、2学期以降に予定している行事の多くも延期または中止せざるを得ない状況にあります。

どんなに世の中が変わり社会が変化してもよりよく生きたいという子供たちの願いは変わりません。そして、その願いを実現させるのが教育であり学校の力です。教職員一同、英知を結集し、「決してあきらめない心」をもって教育活動を進めてまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。